

佐渡金山と朝鮮人戦時労働者

佐渡金山が世界文化遺産に推薦されて以降、韓国が佐渡金山を「朝鮮人戦時労働者の強制労働の現場」として世界遺産登録反対の主張をあげています。国内においても、韓国に迎合して佐渡金山を朝鮮人労働者の強制連行・強制労働と結び付けています。

しかし、史料に基づいた学術的な歴史考察を行うと、これらの主張は根拠がないことが分かります。日韓学術講演会は東京と新潟の会場で行い、韓国より『反日種族主義』の共著者である李宇衍博士をお招きします。日本側からは当研究会の西岡力会長が登壇し、佐渡金山の歴史を正しく見つめるための講演を行っていただきます。

主催 歴史認識問題研究会

2022年7月9日(土) 13:30~16:00 (開場 13:00)

東京会場：都市センターホテル オリオン

2022年7月10日(日) 13:30~16:00 (開場 13:00)

新潟会場：朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター) 中会議室 302

※両会場とも講演会の録画、録音はご遠慮ください。

・登壇者紹介



西岡 力 (にしおか つとむ)

歴史認識問題研究会会長、「救う会」全国協議会会長、韓国・北朝鮮地域研究の専門家。慰安婦問題や朝鮮人戦時労働者問題にも取り組み、『よくわかる慰安婦問題』、『でっちあげの徴用工問題』は韓国語訳出版されている。日本で最初に慰安婦強制連行を報じた植村隆元記者との裁判では裁判所が植村元記者の捏造を認め、全面勝訴した。



李宇衍 (イ ウヨン)

李栄薫編『反日種族主義』、『反日種族主義との闘争』の共著者であり、李氏朝鮮後期以来の山林とその所有権の変遷に関する研究を専門にする。ハーバード大学訪問研究員、九州大学客員教授、落星台経済研究所研究委員を歴任し、慰安婦像や「徴用工」像設置に反対する活動を継続している。

資料代 1千円
(各会場共通)

事前申込不要

お問い合わせ (各会場共通)

TEL : 090-7982-8670 (長谷)

E-mail : info@harc.tokyo

●佐渡鉱山が朝鮮人強制労働の現場ではなかったことを示す、平井栄一編『佐渡鉱山史其ノ二』

同書は 1950 年にまとめられた原稿で出版はされていません。平井栄一氏は、元佐渡鉱山採鉱課長で佐渡鉱業所を経営していた三菱金属社長の依頼で佐渡鉱山の歴史について江戸時代から昭和まで 2 巻にまとめており、歴史認識問題研究会が初めて公開しました。日本人と同じ待遇であったこと、宿舍や食事などで鉱業所側がかなり神経を使って良い待遇を与えていたことが簡潔に書かれています。

